

《病歴要約「疾患群・提出数」一覧表》

内容		提出数		
分野	総合内科（一般）	2		
	総合内科（高齢者）			
	総合内科（腫瘍）			
	消化器	消化管	1	3（※1）
		肝臓	1	
		胆道・膵臓	1	
	循環器	3		
	内分泌	1～2	3（※2）	
	代謝	1～2		
	腎臓	2		
	呼吸器	3		
	血液	2		
	神経	2		
	アレルギー	1		
	膠原病	1		
感染症	2			
救急	2			
外科紹介症例		2		
剖検症例		1		
合計		29		

※1 消化器分野では「疾患群」の経験と「病歴要約」の提出のそれぞれにおいて「消化管」、「肝臓」、「胆道・膵臓」が含まれること。なお、研修手帳内の疾患群【9】「腹腔・腹壁疾患」、「急性腹症」は、消化器分野の病歴要約としてはご提出できません

※2 「内分泌」と「代謝」からはそれぞれ 1 症例ずつ以上の病歴要約を提出すること

例) 「内分泌」2 例+「代謝」1 例 or 「内分泌」1 例+「代謝」2 例

- ・ 病歴要約は内科全領域から指定された 29 症例を取りまとめ、提出すること
- ・ **全て異なる疾患群での提出が必要**である（但し、外科紹介症例と剖検症例については領域別症例の疾患群と重複することがある場合、これを認める）
- ・ 症例は主病名がバンスより選択されていることを重視し、**領域別症例はそれぞれ異なる疾患群から作成**すること
- ・ **外来症例による病歴要約の提出は 7 症例まで**認める
- ・ **初期研修中に受け持った症例の提出については、14 症例を上限**とする

（ご注意ください）病歴要約 29 症例の評価が「不合格」の場合、試験の最終結果は「不合格」となります